



もんぜんろくちょう

タイトルの3つの色は、鬼すべの際の誓固・鬼係・燻手の法被の色をイメージしたものです。

協議会の活動

平成 26 年度も、5 月 23 日（金）に総会を開催し、年度事業がスタートしました。今年度の大きな柱は、参道部会による参道沿いの建築修景のための基準づくりや、幸ノ元溝尻水路部会による小鳥居小路の魅力づくりについての話し合いを進めることで、これまでにワークショップや会議を開催し、住民・市役所の協働として、できることを持ち寄る姿勢で協議を行っています。

部会の活動

■参道部会

第 1 回 9 月 2 日、第 2 回 10 月 3 日、第 3 回 12 月 5 日に協議を行いました。参道の範囲を天満宮から大駐車場までと位置付け、参道のまちづくりを考える中で、主として昨年度に引き続き、参道における修景の基準を作成しています。

平成 26 年度は、参道の街なみづくりにとって大事な建築意匠を検討しました。修景基準の方向性は、参道に残る伝統建造物（歴史的風致形成建造物候補）においては形態意匠を旧来の意匠に復元し、それ以外の建造物については、伝統建造物



の形態意匠と連携・協調できるものと考えています。また、鉄筋コンクリート建造物（RC 建造物）の形態意匠について、如何に取り込んでいくのが課題として残されています。この基準は、平成 28 年度から始める「歴史的市街地の修景推進事業」として活用されることとなっています。

■幸ノ元溝尻水路部会

今年度の目標は、小鳥居小路の魅力づくりについて、行事や人づくり、施設整備など様々な側面から知恵を出し合う形で進めています。

大きな目標は、市内唯一の商業地域にあって、参道を歩く 700 万人を超える人々を、小鳥居小路へ呼び込むための魅力づくりを行い、まちの活性化を図っていくことです。その魅力づくりの一つとして、平安時代から流れていた幸ノ元水路に水の流れを取り戻すための方法や、小鳥居小路の道路整備を検討しています。地元（小鳥居小路に面する地権者・事業者）を対象に、8 月 22 日（金）19:00 より太宰府館において説明会を開催しました。参加者の多くは、水路に水の流れを取り戻すことを手始めに、通りの伝統的な建造物や恵比須さんなどの文化遺産を観光資源として活かし、参道を歩く人々の流れを呼び込むことで活性化を図っていくとの意見が多く出されました。意見の中には、事業期限が 10 年という限られた事業期間であるということで、早急に方向性を出す必要性の意見が出され、次回からは、ワークショップ（WS）による住民参画型の検討会を開催することとなりました。

WS は、「小鳥居小路の魅力づくり」をテーマに魅力と問題・課題の抽出を行っています。実施にあたっては、小鳥居小路に面する地権者及び営業をする事業者を対象に約 50 軒に対し案内状を

配布し、参加を求めました。

第1回WSは、「小鳥居小路の魅力再発見」として9月19日（金）に太宰府館において開催しました。皆さんの意見を集約すると次のとおりです。

小鳥居小路の魅力

- 「小鳥居小路」という名前が良い
- 水路がある（昔は打ち水など行った）
- 歴史的な建造物がある
- 歴史ある年中行事、祭りがある
- 集える場所がある（井戸端会議、情報交換）

○良いお店がある

小鳥居小路の問題・課題

- 水路の安全な利活用
 - 活気がない、目玉がない、人が集う店がない
 - 景観が雑然としている（家、道路、電柱、電線）
 - 通過車両が多い
 - 空き家、空店舗がある
 - 回遊性がない（参道→天満宮→小鳥居小路）
 - 地元の説明板がない
 - 住民の「おもてなし」意識が不足
- 等々に集約される意見が出されました。



第2回WSは、前回出された魅力のなかから道路整備と水路整備について意見を出してもらいました。まず道路整備については、

- 歩行者にやさしい通りとする
- 舗装の色、素材
- 無電柱化（電線のない通りへ修景）

などで意見が出ました。舗装の色について「国博通り」と同様の色と素材。具体的には、エンジ色や紺色などのカラー舗装。さらに素材としては、石畳風・透水性アスファルトなどの案が提案され

ました。

幸ノ元水路に水の流れを取り戻すことについては、みなさんも賛同されていますが、石蓋を開けることについては慎重な声も聞こえています。まずは可能な部分から石蓋を開け、水の流れを見せていきたいものです。

また取水方法については、平成15年の豪雨災害によって欠陥した幸ノ元井堰に替わる新たな堰を設け、自然取水の方法について、御笠川の管理者である福岡県那珂県土整備事務所と太宰府市で調整を行っています。

さらに、

- 交通対策
- 安全対策
- 住民や事業者への配慮
- 水路の管理問題

等についての提案がなされました。

第3回WSは、前回までの提案を基に計画図を作成し、さらに意見交換を行う予定です。



今後の活動

まちの魅力づくりは、人びとの活動と環境整備が両輪として動かなくてはなりません。できることを持ち寄って、知恵と力を出し合うことが必要となってきます。当協議会の場を使い、参画している方々で議論し、進めていきたいと思えます。

もんぜんろくちょう お知らせ2

編集・発行 太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会
【事務局 太宰府市建設部都市計画課 景観・歴史のまち推進係】
発行日 平成27年1月31日